

## 令和5年度第4回経営会議 会議概要

### 1 開催日時

令和6年3月18日（月） 14:00～16:05

### 2 場 所

本部棟3階 大会議室

### 3 出席者（委員11名中8名出席）

学外委員：谷村委員、菅原委員、小原委員、谷藤委員

（欠席：木村委員、菅委員、佐々木委員）

学内委員：千葉委員、鈴木委員、宮野委員、亀田委員

### 4 審議事項及び審議結果

#### (1) 公立大学法人岩手県立大学令和6年度計画（案）及び予算（案）について

令和6年度計画案及び予算案について、計画案を亀田委員から、予算案を宮野委員から説明し、質疑等を経て、原案のとおり承認された。

#### (2) 岩手県立大学ダイバーシティ&インクルージョン推進基本指針 Version 1（最終案）について

推進基本指針について、事務局から説明し、質疑等を経て、原案のとおり承認された。

#### (3) 組織改編等に伴う関係規則等の一部改正について

上記規則の改正について、事務局から説明した。各委員からの質疑等はなく、原案のとおり承認された。

### 5 その他

#### (1) 令和5年度内部監査の結果概要及び対応について

内部監査結果及び対応について、内部監査室長から資料に基づき報告した。

#### (2) 令和6年度入学（学校推薦合格者）障がいをもつ学生の受入れについて

上記学生の受け入れに係る体制について、事務局から資料に基づき報告した。

#### (3) 令和5年度岩手県立大学の就職内定状況（2月末現在）について

2月末現在の就職内定状況について、事務局から資料に基づき報告した。

(4) ハラスメント防止対策の強化について

ハラスメント防止対策の強化について、事務局から資料に基づき報告した。

(5) 学長選考会議の開催方針について

上記会議の開催方針について、事務局から資料に基づき報告した。

(6) 令和6年度の法人役員体制について

(7) 令和6年度部局長等について

令和6年度の法人役員体制及び部局長等について、事務局から資料に基づき報告した。

(8) その他

① 令和5年度「岩手県立大学学生ライフサポートプロジェクト」の実施結果について

上記プロジェクトの実施結果について、事務局より資料に基づき報告した。

② 令和5年度第3回経営会議における意見等とその対応について

前回経営会議における意見等とその対応について、事務局より資料に基づき報告した。

また、本学関連新聞記事の紹介、配布を行った。

加えて、さんさ踊りの新しい浴衣等デザインについて報告した。

6 意見・質問に対する回答等

学外委員の意見・質問等に対する学内委員及び事務局等の回答等は、次のとおり。

• 教育実施体制について（審議事項（1）関連）

大学院の定員確保等教育実施体制の検討状況について質問された。

これに対し、大学院を修了しても専任になれない状況や、オーバードクター問題もある。海外に出るといった選択肢もあるが、本学としてどのように進んでいくか、検討を進めていきたいと考えている旨回答した。

• 科研費支援について（審議事項（1）関連）

教員アンケートを踏まえより実効性のある内容とするよう、令和6年度計画では、支援内容を拡充するとなっているが、具体的にどのような拡充を検討されているか質問された。

これに対し、これまでは申請率を上げることをベースとして支援を行ってきたが、

来年度からは、採択に至らなかった方をサポートし、採択率を上げるよう取り組んでいく予定である旨回答した。

- **ハラスメント外部相談窓口について（審議事項（1）関連）**

相談窓口の外部委託についてどのような運用や効果を狙っているのか質問された。

これに対し、学内窓口の場合関係者も多く、相談を躊躇される可能性もあるため、外部の方に相談できる体制も整え、相談できるルートを増やし、ハラスメントが起きないように、起きたとしても必要な対処をしていくという観点で設置を行った旨回答した。

- **企業学群構想推進事業費について（審議事項（1）関連）**

推進事業費の内訳について、コーディネーターを配置するということが、主に人件費にかかるものという認識で良いか質問された。

これに対し、コーディネーターの人件費が主たるものだが、フォーラム及びワークショップの開催経費、様々な改正に係る事務経費及び市町村との連携を進めていくための視察経費等の事務費も含まれる旨回答した。

- **第2地域連携棟について（審議事項（1）関連）**

建設の場所や目的等概要について質問された。

これに対し、ソフトウェア情報学部A棟駐車場側に1階建てで建設を予定しており、ドライビングシミュレーターを使用した研究推進の施設である旨回答した。

- **知的財産業務強化費について（審議事項（1）関連）**

業務強化費の用途及び特許の出願料の費目について質問された。

これに対し、業務強化費はコーディネーターの人件費であり、本学における知財の内容のチェックや戦略を立てるため雇用を予定している旨回答した。

また、知財の出願等に係る経費は経常的経費の地域連携推進事業費に含まれている旨回答した。

- **看護学研究科について（審議事項（1）関連）**

看護学研究科へどのような学生が入学しているか、またどのような学びをさせているか質問された。

これに対して、看護学研究科はほぼ100%社会人の方が入学している旨回答した。

また、資格の部分では、がん看護、慢性看護の高度実践看護師を養成しており、病院以外のところでは、コーディネーターの役割や調整機能、教育研究の支援とい

うところをミッションとして輩出しており、大学院を修了した後も大学と連携しながら、徐々にその役割の拡充を図っているところである旨回答した。

- **男性の育休取得率について（審議事項（2）関連）**

中期計画における男性の育休取得率 20%という目標はかなり低い目標であると思うので、確実に達成するとともに、上回っていくよう、育休を取得しやすい環境の整備を期待する旨意見があった。

- **就業規則における「職員」の範囲について（その他事項（4）関連）**

参考資料 1-1 において、表現が「職員」となっているが、教員も含まれるか質問された。

これに対し、就業規則では、「職員」は「教職員」を指す旨回答した。

以上